

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【公開番号】特開2014-14093(P2014-14093A)

【公開日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-161874(P2013-161874)

【国際特許分類】

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 W 28/16 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 J 15/00

H 0 4 W 28/16

H 0 4 W 24/10

H 0 4 W 72/04 1 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月21日 (2014.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィードバックをワイヤレスに送信するための方法であって、

第 1 のフィードバックを送信することと、

ワイヤレスノードの移動性を決定することと、

前記決定された移動性に反応して、前記第 1 のフィードバックとは異なる第 2 のフィードバックを送信することであって、前記第 2 のフィードバックは延長された間隔でおよび低減された量子化エラーにより送信される、第 2 のフィードバックを送信することと、
を具備する、方法。

【請求項 2】

請求項 1 の方法において、しきい値未満の移動性に応じてフィードバックデータレートを変更することおよびペイロードを変更することを、ベースノードに通知することをさらに具備する、方法。

【請求項 3】

請求項 1 の方法において、マルチレベル符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減することをさらに具備する、方法。

【請求項 4】

請求項 1 の方法において、多重記述符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減することをさらに具備する、方法。

【請求項 5】

請求項 1 の方法において、ユーザ機器 (UE) からネットワークに前記第 1 のおよび第 2 のフィードバックを送信することをさらに具備する、方法。

【請求項 6】

請求項 1 の方法において、ネットワークからユーザ機器 (UE) に前記第 1 のおよび第

２のフィードバックを送信することをさらに具備する、方法。

【請求項 ７】

フィードバックをワイヤレスに送信するための装置であって、
第 １のフィードバックを送信するための手段と、
ワイヤレスノードの移動性を決定するための手段と、
前記決定された移動性に反応して、前記第 １のフィードバックとは異なる第 ２のフィードバックを送信するための手段であって、前記第 ２のフィードバックは延長された間隔でおよび低減された量子化エラーにより送信される、送信するための手段と、
を具備する、装置。

【請求項 ８】

請求項 ７の装置において、
さらに、しきい値未満の移動性に応じてフィードバックデータレートを変更することおよびペイロードを変更することを、ベースノードに通知するための手段を具備する、装置。

【請求項 ９】

請求項 ７の装置において、
さらに、マルチレベル符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減するための手段を具備する、装置。

【請求項 １０】

請求項 ７の装置において、
さらに、多重記述符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減するための手段を具備する、装置。

【請求項 １１】

請求項 ７の装置において、さらに、ユーザ機器（UE）からネットワークに前記第 １および第 ２のフィードバックを送信するための手段を具備する、装置。

【請求項 １２】

請求項 ７の装置において、さらに、ネットワークからユーザ機器（UE）に前記第 １および第 ２のフィードバックを送信するための手段を具備する、装置。

【請求項 １３】

フィードバックをワイヤレスに送信するためのコンピュータ可読記憶媒体であって、
コンピュータに、第 １のフィードバックを送信させるためのコードと、
前記コンピュータに、ワイヤレスノードの移動性を決定させるためのコードと、
前記コンピュータに、前記決定された移動性に反応して、前記第 １のフィードバックとは異なる第 ２のフィードバックを送信させるためのコードであって、前記第 ２のフィードバックは延長された間隔でおよび低減された量子化エラーにより送信される、送信させるためのコードと、
を具備する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 １４】

請求項 １３のコンピュータ可読記憶媒体において、前記コンピュータに、しきい値未満の移動性に応じてフィードバックデータレートを変更することおよびペイロードを変更することを、ベースノードに通知させるためのコードをさらに具備する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 １５】

請求項 １３のコンピュータ可読記憶媒体において、前記コンピュータに、マルチレベル符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減させるためのコードをさらに具備する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 １６】

請求項 １３のコンピュータ可読記憶媒体において、前記コンピュータに、さらに、多重記述符号化として、前記フィードバックをエンコードすることにより量子化エラーを低減させるためのコードを具備する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 17】

請求項 13 のコンピュータ可読記憶媒体において、前記コンピュータに、さらに、ユーザ機器（UE）からネットワークに前記第 1 および第 2 のフィードバックを送信させるためのコードを具備する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 18】

請求項 13 のコンピュータ可読記憶媒体において、前記コンピュータに、さらに、ネットワークからユーザ機器（UE）に前記第 1 および第 2 のフィードバックを送信させるためのコードを具備する、コンピュータ可読記憶媒体。